

平成5年 5月15日

May 15, 1993

No.603



発行: 小田原市役所
〒250 小田原市荻窪300番地
毎月1・15日発行
編集: 広報広聴課 (☎ 33-1261)

戦国絵巻 北條五代祭り



城内スポレク広場でのグランドオープニング

五月三日、小田原城天守閣周辺で、北條五代祭りが壮麗に開催されました。今回は初めて、早雲公銅像前で出陣の宴を行い、グランドオープニングでは、鎧・兜に身を固めた北條五代や、あでや

かな姫君たちがステージに勢ぞろい。初代早雲公にふんした小澤市長の開会宣言に続いて、武者隊が勝ちどきをあげて出陣し、総勢千九百人のパレードに沿道の見物人は歓声をあげていました。



ミニ観葉植物をどうぞ

グリーンライフおだわら'93 街頭キャンペーン

四月二十九日の緑の日、小田原駅東口と城址公園野外ステージで、かながわ都市緑化小田原フェア「グリーンライフおだわら'93」の街頭キャンペーンが実施されました。

おそろいのジャンパーを着た市民キャンペーングруппスタッフや、小澤市長、ミス小田原がミニ観葉植物とマスクコットバッジを買い物客や観光客に手渡し、イベントへの来場を呼び掛けました。

「花と緑を未来につなごう」が合い言葉のグリーンライフおだわら'93は、十月三日から十一日までの間、上府中公園で開催されます。

目 次

- ② 新自治会長決まる
- ③ マイタウンレポート
- ④ ⑤ 曾我の傘焼きまつり・小田原の年中行事
- ⑥ ⑦ きらめき情報・けんこうコーナー
- ⑧ おだわらの鳥

中小企業振興諸施策の活用を
中小企業者が対象です

- この限られた資限
私は以前から大量に打ち捨てられて行くタンボールや発泡スチロール、木箱のことが気になつて仕方なかつた。そこで、小田原ではどんな状態なのかと思ひ、まず発泡スチロールを大量に利用する魚市場に聞いてみた。

一日当たり約七百二十一キログラム、個数は大小合わせて三千九百六十個ほど。これを二基のスチロール専門の焼却炉で午前七時から午後三時、四時ごろまで毎日毎日ただ、焼き捨ててゐること。ただし、この場合は、化学製品を燃す時特有の黒煙や有害物質は出さないようになつてゐるらしい。この焼却

炉を利用する前は、溶鉱炉でチロールを溶かして業者がキヤウド当たり三十円で引き取っていた。しかし、最近ではそれが古くなつたのをもできず、炉が古くなつたのを機会に今焼却炉に変えたとのこと。

次に、外国から輸入魚を入れてくる木箱。大型のマグロ用は捨てで、解体されて市のゴミ処理場へ直行している。その量は毎日一千から三千キログラムほどとか。そのほか、業者が個人的に海辺などで焼却している例もあるや聞く。

最後にダンボール。八百屋さんで多く使われているので青里

三台分づつのことだ。ダンビルの方は五月十日から分別回収して再利用し、残りは廃品として回収してもらうことだった。

再利用されない第一の理由は経済的に成り立たないかららしいが、地球上の貴重な資源の多くが使い捨てされている現状で、私たちにはただ仕方がないといつだけ見過ごしてしまってよのだろうか?とにかく処理するということが自分たちの目の前から消えればそれで良いといふところに空しさを覚える。ただ経済的に見合わないといふだけであれらの資源をむやみに捨てるつていう現実。木箱などはやはり木を切り倒して作られた



今まででは便利さと経済性のみに…。
を追求してきた我々が、もうここで、本当は人間を始め地球上に生きる生物にとって何が一番大切なことかと、いうことを考えて行動しなければいけない時にきてるのでないだらうか？否、もう既に遅すぎるのでは？その証拠に、近年の地球規模で起きている異常気象を何と見るか。地球自体は酸素が減らうが酸性雨が降ろうが何も困りはない。一番困るのは我々生物なのだと、いうことを身にしみてほしい。

この水路には、米作りのほ
環境保持の目的で年間を通じ
量の水が流れています。5月
教育研究所訪問女性

◆問い合わせ 農政課 ◆(33) お電話いたぐか、おいで
◆問い合わせ 小田原市教 究所 (33) 1729 相談
な目で見、やさしい心で接し
いくために女性訪問教育相談
が配置されました。学校や家庭
を訪問して、できる限り相談
応じます。



女性訪問教育相談 教育研究所に

農政課 (33)
1 小田原市教員
1729 相談担当

農業用水路の 増水に注意を

日本古文書の印の見分け方とその歴史とその他の知識

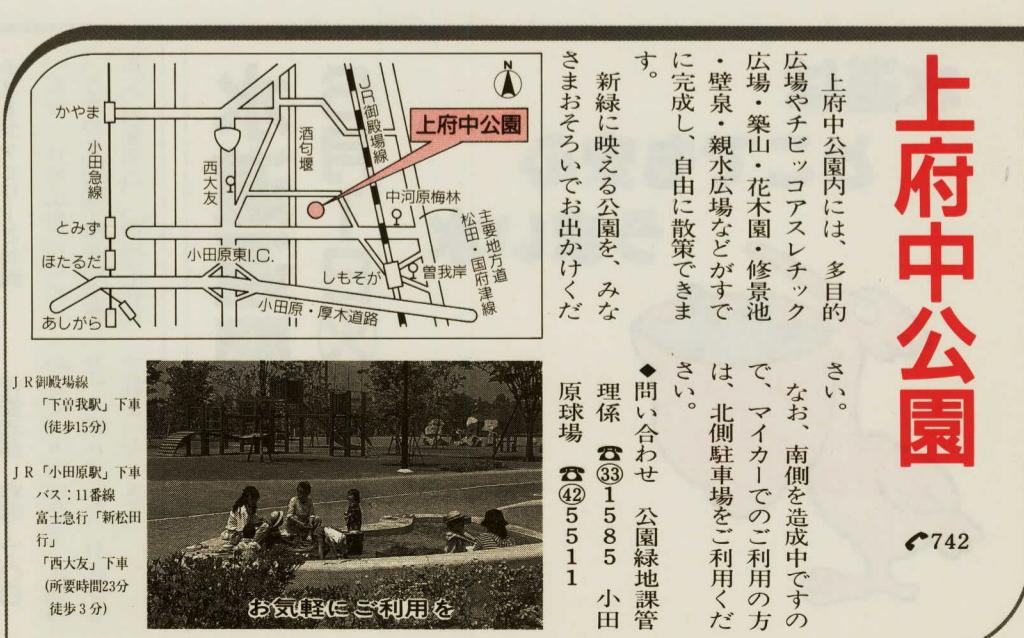
中小企業のための

- ◆ 対象者 中小企業者で最近壇上り上げが伸び悩んでいる方や店舗改装の計画はあるが、店舗のレイアウトや商品配置について専門的なアドバイスをしてほしい方など。
 - ◆ アドバイザー 利用者のご希望に適した専門の中企診断士、税理士、建築士など。
 - ◆ 派遣日数 アドバイスを必要とする内容によって、商工課で決定します。

中小企業 融資制度

市では下の表のよう、現
市内で中小企業を経営されて
る方のために、低利で融資を実
施しています。店舗の改装や工
場の移転、機器の購入、従業員
・POPで他店に差をつけよ
(レタリング・レイアウト)
・客数と売上げを伸ばす店頭宣

資金名	資金使途	貸付限度額	貸付期間	貸付利率	備考
中小企業 小口資金	運転資金	300万円	4年以内	3年以内 3.8%	融資対象とならない業種がありますので、お問い合わせください。
	設備資金	500万円	5年以内		
	併用資金	500万円	5年以内	3年超 4.0%	
中小企業 中元歳末資金	運転資金	500万円	6か月以内	4.0%	受付は8月31日までです。
大型店対策 特別資金	店舗改装用 設備資金	2,000万円 (ただし、総額の80%まで)	500万円以下 5年以内	5年以内 4.0%	小売業者が対象です。
			500万円超 1,000万円以下 7年以内		
			1,000万円超 10年以内	5年超 4.1%	
事業所立地 適正化資金	立地適正化のための工場用地購入資金など	5,000万円 (ただし、総額の80%まで)	20年以内	5.0%	製造業者が対象です。利子補給制度があります。



曾我の傘焼まつり

—曾我兄弟大願成就800年祭—



城前寺に奉納されている
兄弟討ち入りの垂れ幕

日本三大あだ討ち

曾我兄弟のあだ討ち、寛永十一年（一六三四年）荒木又衛門の伊賀上野・鍵屋の辻のあだ討ち、元禄十五年（一七〇二年）赤穂義士のあだ討ちが日本三大あだ討ちといわれています。

曾我兄弟のあだ討ちが、さまざまなかたちで現在まで伝えられています。

いるのは、江戸時代に曾我物語として謡曲、淨瑠璃、義太夫浄瑠璃、歌舞伎などに数多く取り上げられたことによります。

とくに歌舞伎は民衆の間で人気を得て、初春狂言は必ず曾我

安元二年（一一七六年）、伊豆の国で、兄弟の父河津祐泰（祐通ともいいうは）、所領の争いがもとで工藤祐経の家来に弓矢で

曾我の傘焼まつりは、「曾我兄弟のあだ討ち」で有名な曾我十郎と五郎の靈を慰めるお祭りです。二百年も前から続けられているこのお祭りは、地域のみなさんの力によつて年々盛大になり、今では梅まつりと並んで「曾我の里」づくりの大きな柱となっています。今年はあだ討ちからちょうど八百年、たくさんの方々が予定されています。みなさんも「曾我の里」へでかけて手づくりのお祭りに参加してみてください。

曾我兄弟のあだ討ち

建久四年（一一九三）五月、源頼朝は富士の裾野で盛大な巻狩りを催しましたが、この時、十郎と五郎は、各豪族のひそかに援助や手引で雷雨の激しい夜、工藤祐経の陣屋に忍び込みました。兄弟は、目指す祐経を探しますが、たいまつが燃え尽きていた笠をたいまつ代わりにして見つけ出し、やつと祐経を討ち取ることができました。兄の十郎はこのときに討ち死にし、弟の五郎は翌日打ち首になりました。十郎が二十二歳、五郎が二十歳の若さでした。

傘焼きまつりと角力

曾我兄弟の実父の河津三郎祐泰は、河津の地頭で武芸に優れた武将でした。当時相模の国に侯野五郎という無敵の大力士がありました。あるとき頼朝の面前で角力大会が催されたとき、連戦連勝の侯野五郎を河津の三郎が「河津掛け」の奇手で破り大喝采をうけました。

この故事にならい、曾我兄弟

二十八日には、大願成就のお札参りに城前寺を訪れることがあります。

傘焼まつりの行事予定

○五月十五日（土）
・講談「夜討曾我」宝井琴梅
師匠 下曾我支所 午後七時

境内には曾我兄弟の墓所をはじめ、遺跡碑や曾我物語に縁のある地唄やこの地を訪れた歌人の石碑などがあります。ご覧になつてください。兄弟の親を思う心と勇気に共感されることと思います。

○五月二十三日（日）
・弓道大会 城前寺 午前十時
三十分
○五月二十七日（木）
・俳句大会 梅の里センター
・謡曲「小袖曾我」曾我別所
城前寺 公民館
・松明行列 六本松・祐信塔
駅前大通り 午後八時
・曾我音頭、パレード 下曾我



平成4年5月28日撮影 大関昇進直後の暈闇

水道はどこでも安心うまい水



水道週間
6月1日火～7日月

ときめき国際学校市民ボランティア募集

ホストファミリー

オーストラリア中高生のホストファミリーを募集します。期間は7月16日から27日のうち、6日間程度です。

市民スタッフ

「ときめき国際学校」の支援スタッフを募集します。国際交流に関心がある方の応募をお待ちしております。
◆申し込み・問い合わせ文化交流課 ☎ ④11706
ホストファミリーと対面引き合わせ式で集の対象者は、「市内に在住する五月一日号広報おだわらの方で、市内に在学、在勤の方」の誤りでした。お詫びして訂正いたします。



